

青森県 三沢市商工会青年部

基地のまちのアメリカ味



商工会青年部（竹林大輔部長）と三沢基地の米国人家族らが「アメリカの味」再現を

ねらい、コンビニのサークルKサンクスと組んで開発した特大ハンバーグ弁当が、県内のコンビニで一斉発売された。

弁当作りは三月から始め、今春には青年部内に「新・ご当地グルメ発足委員会」を設置、「地域おこしのキーワードは食」を掲げ、生産・加工・販売各分野の結びつきを深めて、より強力に「三沢の食」の発信をめざしている。

基地の米国人も納得できる味にしたいと、ハンバーグの大きさやソースの味など一つひとつを研究した。アドバイザーを受けた米国人主婦の「アメリカの食べ物は彩りが大事」という意見をもとに、マッシュポテトやコーンも添え、パッケージには「MISA WA 発」をうたった。

同委員会の浄法寺朝生委員長は「特大ハンバーグ弁当は五月二十四日までの期間限定でした。第二弾として特大・特製ハンバーガーも作りました。食を通じて三沢に興味を持ってもらい、気軽に三沢に来てほしい」とPRしている。

山形県 中山町商工会女性部

ふるしきはエコバッグにも



六月一日から町内のスーパー一店でレジ袋の有料化が始まり、十六日には商工会女性部（石川ヒサ子部長）が環境問題を考えてもらうきっかけになればと、町内・長崎小学校で「ふるしき講習会」を開いた。

講習会には女性部員二名が「マイふるしき」を持参し、さまざまな包み方や利用法を実演。ふるしきは何度でも繰り返し使え、さまざまなものを自在に包むことができることから、女性部はエコバッグとして普及させたいと考えている。

ふるしきで瓶を包んだり、ふるしきで作ったウエストポーチや買い物バッグ、二枚のふるしきを組み合わせで作ったリュックサックなどを見て、児童らは驚きの声をあげ、「ふるしきでこんなにいろいろなことができるなんて知らなかった」「便利そうなので、使ってみたい」と口々に話していた。

福岡県 筑紫野市商工会

食べられる エコな 「緑のカーテン」

商工会（帆足忠勝会長）は二〇〇七年から市の名前にある紫色を生かした地域おこしをめざし、かつて市内に自生していたムラサキグサの復活や紫色の特産品開発などの「紫プロジェクト」を推進してきた。その一環として、今年には市内の保育園・幼稚園など約二〇カ所にツルムラサキの苗一五〇本を寄贈した。

ツルムラサキは紫色のツルを持ち、食用にもなり、栄養価は高い。昨年、会員が自宅で試験栽培した際、ツルが窓を覆えば室内温度が下がるエコ効果に気づいた。そこで今年、「食べられる緑のカーテン」として市内に普及しようと企画したのも。



五月十九日には、建設工業部会の約二五人が保育園や幼稚園を訪れ、苗を植えたプランターやツルを這わせるネットなどを設置。帆足会長は「七月には一〜三メートルの高さに育ちます。園児を送迎する保護者に見てもらい、家庭での栽培が広がれば」とまちが紫色に染まるのを期待している。

お知らせ

毎月勤労統計調査特別調査についてのご願い

厚生労働省

厚生労働省では、本年七月三十一日現在で、常用労働者を一人から四人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、一〜四人規模事業所における賃金、労働時間及び労働者数の動向を都道府県別に明らかにするなどの目的をもつ大切な調査です。

調査対象となる事業所には、八月から九月にかけて統計調査員が訪問して調査票を作成いたします。

調査票に書かれた事柄は、「統計法」により、厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることは禁じられています。

ご多忙のご事情は存じますが、調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。